



IYC2025ニュース第10号

2025年5月29日発行

2025国際協同組合年全国実行委員会 <https://www.japan.coop/iy2025/>

事務局 一般社団法人 日本協同組合連携機構
 東京都新宿区市谷船河原町11番地 飯田橋レインボービル5階
 E-mail: iyc2025@japan.coop TEL: 03-6280-7254

第217回通常国会で協同組合の振興を図る決議が採択されました

国連が2025年を「国際協同組合年」と定めたことを受け、衆参両議院は5月27日（衆議院）、28日（参議院）の本会議において「国際協同組合年に当たり協同組合の振興を図る決議」を賛成多数で採択しました。

決議では、国際協同組合年が、協同組合を振興し、持続可能な開発目標（SDGs）の実施と社会・経済開発全体に対する協同組合の貢献に対する認知を高めることを目的としていることを踏まえ、政府に対して、協同組合を振興し、定義・価値・原則を尊重すること、持続可能な地域社会づくりにおける有力な主体として位置付けること、民間非営利組織としての発展に留意することを求めています。



衆議院本会議で発議者を代表して趣旨弁明を行う小山展弘議員（協同組合振興研究議員連盟事務局長）【写真：日本農業新聞提供】



賛成多数で「国際協同組合年に当たり協同組合の振興を図る決議」を議決した衆議院本会議【写真:日本農業新聞提供】

国際協同組合年に当たり協同組合の振興を図る決議

国際連合は、2023年12月の総会において、協同組合を振興し、持続可能な開発目標の実施と社会・経済開発全体に対する協同組合の貢献に対する認知を高めるため、2025年を「国際協同組合年」とする旨決定した。

また、政府は、「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」において、「協同組合をはじめ、地域の民が共助の精神によって参加する公共的な活動を担う民間主体が、各地域に山積する課題の解決に向けて、自立と共生を基本とする人間らしい社会を築き、地域の絆を再生し、SDGsへ貢献していくことが期待されている」と表明している。よって政府は、次の基本的考え方の下に協同組合の振興に取り組むべきである。

- 一 協同組合に関する様々な施策を企画立案し、及び実施するに当たっては、国際連合の「協同組合の発展のための支援的な環境づくりをめざすガイドライン」（2001年）及びILO（国際労働機関）の「協同組合の促進に関する勧告」（2002年）に留意するとともに、ICA（国際協同組合同盟）の「協同組合のアイデンティティに関するICA声明」（1995年）によって定められた協同組合の定義、価値及び原則を尊重すること。
- 二 協同組合が相互扶助の精神に基づき地域社会の持続可能な発展のために活動している点を重視し、持続可能な地域社会づくりに当たっては、その有力な主体として協同組合を位置付けること。
- 三 現代日本の経済社会において公共部門や営利企業ではない民間非営利組織が果たし得る役割を重視し、多くの人々が組合員として民主的に管理運営する民間非営利組織である協同組合の発展に留意すること。

右決議する。

衆参両院における議決にあたってのIYC2025全国実行委員会代表コメント

【衆議院】

本日、衆議院本会議において、「国際協同組合年に当たり協同組合の振興を図る決議」が採択されました。

これは、国連が今年を国際協同組合年と定めたことを受け、当全国実行委員会が、協同組合振興研究議員連盟（超党派。会長：森山裕自民党幹事長）に対して行った要請を踏まえ、同議連役員、議連加入議員各位が各会派、各衆議院議員に働きかけていただいた成果です。

今年を国際協同組合年と定めた国連総会決議「社会開発における協同組合」では、「すべての加盟国が協同組合を振興し、SDGs等に対する協同組合の貢献について認知を高めるために国際協同組合年を活用することを促す」旨述べています。わが国の衆議院において、国連と同様に、政府に対し、協同組合の振興に取り組むとともに、「協同組合のアイデンティティに関するICA 声明」に定められた協同組合の定義・価値および原則の尊重等を求めたことは、非常に意義深いことと考えます。

当実行委員会に参加する協同組合は、自らの使命を改めて自覚し、国連や衆議院で示された期待に応え、これまで以上に持続可能で活力ある地域社会の実現のため尽力いたします。

2025 年5 月27 日

2025 国際協同組合年全国実行委員会

代表 山野 徹

(日本協同組合連携機構 代表理事会長)

【参議院】

5月27日の衆議院本会議での採択に続き、本日、参議院本会議においても、「国際協同組合年に当たり協同組合の振興を図る決議」が採択されました。衆参両院の決議は同一の内容です。

これは、国連が今年を国際協同組合年と定めたことを受け、当全国実行委員会が、協同組合振興研究議員連盟（超党派。会長：森山裕自民党幹事長）に対して行った要請を踏まえ、同議連役員、議連加入議員各位が各会派、各国会議員に働きかけていただいた成果です。

今年を国際協同組合年と定めた国連総会決議「社会開発における協同組合」では、「すべての加盟国が協同組合を振興し、SDGs等に対する協同組合の貢献について認知を高めるために国際協同組合年を活用することを促す」旨述べています。わが国の衆参両院において、国連と同様に、政府に対し、協同組合の振興に取り組むとともに、「協

同組合のアイデンティティに関するICA声明」に定められた協同組合の定義・価値および原則の尊重等を求めたことは、非常に意義深いことと考えます。

当実行委員会に参加する協同組合は、自らの使命を改めて自覚し、国連や衆参両院で示された期待に応え、これまで以上に持続可能で活力ある地域社会の実現のため尽力いたします。

2025年5月28日

2025国際協同組合年全国実行委員会

代表 山野 徹

(日本協同組合連携機構 代表理事会長)

用語解説(日本協同組合連携機構作成)

ICA	<p>国際協同組合同盟。100 カ国以上の国々の協同組合が加盟。日本の多くの協同組合全国組織も加盟。同同盟に加盟している協同組合の組合員は全世界で延べ 10 億人を超える。</p>
協同組合のアイデンティティに関する ICA 声明	<p>世界の協同組合が議論の末、協同組合の定義・大切にすべき価値・運営に当たっての指針（協同組合原則）をまとめ確認したもの。過去 2 回改定され、直近は 1995 年に決定された。わが国の各協同組合グループは、この声明を踏まえて綱領的文書（生協の 21 世紀理念、JA 綱領（いずれも 1997 年制定）など）を決定している。また、わが国を含む各国の協同組合法は概ねこれら原則等に基づき制定されている。</p> <p>https://www.japan.coop/pr/pdf/coop_identity_ica_statement_jp.pdf</p> 
協同組合の発展のための支援的な環境づくりをめざすガイドライン	<p>国連が 2001 年に示した。各国政府が協同組合政策や協同組合法を改善するにあたっての指針を提供するもの。協同組合を「市民が地域共同体や国家の発展に寄与しながら生活を改善できる団体」と認め、「その能力を保護・育成する政策が必要」としている。上述の「協同組合のアイデンティティに関する ICA 声明」の定義等を各種協同組合法に盛り込むべき、などとしている。</p> <p>https://www.japan.coop/wp/wp-content/uploads/2024/09/e60de9f5e96599cdf0f77005d067113.pdf</p> 

<p>協同組合の促進に関する勧告（第193号）</p>	<p>ILO（国際労働機関）が2002年に示した。雇用創出、資源動員、投資創出、経済寄与における協同組合の重要性、協同組合が人々の経済・社会開発への参加を推進すること、グローバル化が協同組合に新しい圧力、問題、課題、機会を創出したことを認識し、協同組合を促進する措置を講じるよう加盟国に呼びかけるもの。労使団体と協同組合団体の役割、相互関係、国際協力に関する規定も含まれる（ILO 駐日事務所 100 年誌より）</p> <p>https://www.ilo.org/ja/resource/2002%E5%B9%B4%E3%81%AE%E5%8D%94%E5%90%8C%E7%B5%84%E5%90%88%E3%81%AE%E4%BF%83%E9%80%B2%E5%8B%A7%E5%91%8A%EF%BC%88%E7%AC%AC193%E5%8F%B7%EF%BC%89-0</p> 
-----------------------------	---

「見て、聞いて、体験 協同組合フェスティバル」(7月5日開催)のウェブサイトを開設しました

国際協同組合年である2025年の「国際協同組合デー（7月第1土曜日）」7月5日に東京国際フォーラム（東京・有楽町）で開催する「見て、聞いて、体験 協同組合フェスティバル」のウェブサイトを開設しました。当日のブース情報やその他の企画内容を順次公開します。

<https://www.japan.coop/wp/18856>



見て
聞いて
体験

協同組合 フェスティバル

2025年7月5日(土) 10:00-16:00(予定)

東京国際フォーラム / ホールE・D1



今年2025年は、国連の定めた「国際協同組合年」。

そんな記念の年の7月第1土曜日（国際協同組合デー）に、

「協同組合フェスティバル」を開催します。

協同組合やSDGsについて“見て、聞いて、体験”できる、

いろんな協同組合のブース出展、

JAファーマーズマーケットによる新鮮な農産物の販売、

スペシャルゲストによるステージなどの企画が盛りだくさん！

「協同組合って、何だか難しそう」といったイメージが変わるような、

誰でも楽しめて、学べる、そして未来のヒントが見つかるようなイベントです。

大人も子どももどなたでも参加OK！

ぜひご来場ください。